

## 取扱説明書

### 小形直動精密レギュレータ

#### MNRJB500シリーズ

- 製品をお使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。
- 特に安全に関する記述は、注意深くお読みください。
- この取扱説明書は、必要な時にすぐ取り出して読めるように大切に保管しておいてください。

# 本製品を安全にご使用いただくために


本製品を安全にご使用いただくためには材料、配管、電気、機構などを含めた空気圧機器に関する基礎的な知識（日本工業規格 J I S B 8 3 7 0 空気圧システム通則に準じたレベル）を必要とします。


知識を持たない人や誤った取扱いが原因で引き起こされた事故に関して、当社は責任を負いかねます。


お客様によって使用される用途は多岐にわたるため、当社ではそれらを把握することができません。ご使用条件によっては、性能が発揮できない場合や事故につながる場合がありますので、お客様が用途、用法に合わせて製品の仕様の確認および使用法をよく理解してから決定してください。

本製品には、さまざまな安全策を実施していますが、お客様の誤った取扱いによって、事故につながる場合があります。そのようなことがないためにも、**必ず取扱説明書を熟読し内容を十分にご理解いただいたうえでご使用ください。**

本文中に記載してある取扱注意事項とあわせて下記項目についてもご注意ください。尚、注意事項は危害や損害の大きさと発生の可能性の程度を明示するために「注意」「警告」「危険」の三つに区分されています。

 **危険：** 取扱を誤った場合に、死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定され、かつ、危険発生時の緊急性（切迫の度合い）が、高い限定的な場合。  
**(DANGER)**

 **警告：** 取扱を誤った場合に、死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合。  
**(WARNING)**

 **注意：** 取扱を誤った場合に、軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定される場合。  
**(CAUTION)**

※1)ISO 4414 :Pneumatic fluid power・・・Recommendations for the application of equipment to transmission and control systems.

※2)JIS B 8370:空気圧システム通則

## <開梱>



### 注意

製品内部に異物が入らないように配管直前まで開封しないでください。

## <据付>



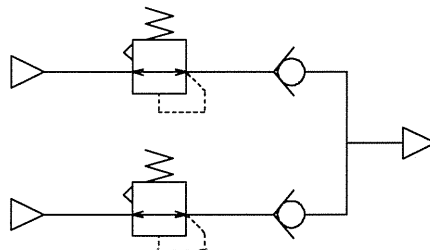
### 警告

衝撃・振動や有機薬品・化学薬品などの雰囲気または付着する場所での使用はできません。破損の危険があり事故になる場合があります。



### 注意

- 1) 使用する配管はフラッシング・洗浄を行なってください。  
配管内にゴミ・異物が残っていると、製品の作動不良を起こす原因となります。
- 2) 製品は矢印で流れ方向を確認の上、正しく接続してください。反対方向に取り付けますと正常に作動しません。
- 3) 製品に無理な力が加わらないように配管してください。  
配管および取り付け時に引張り、圧縮、曲げ、チューブによる外力等の力が製品に加わらないようにしてください。
- 4) 下図のように並列に使用する場合は、二次側を閉回路にしないでください。  
閉回路が必要な場合は、必ず各二次側にチェック弁を入れてご使用ください。



- 5) 圧力計をねじ込む際は、必ず四角二面取り部分にスパナを掛けてねじ込んでください。他の部分を持ってねじ込むとエア漏れおよび破損の原因となります。



### 警告

製品の取り付けは、固定ネジまたはマウントナットで確実に固定してください。圧力を加えたときに製品が振れ、事故につながる場合があります。

## <操作>



### 警告

- 1) 製品の仕様範囲内で使用してください。
- 2) レギュレータの設定圧力を超えた出力圧が二次側装置の破損や作動不良を招く場合には、必ず安全装置を付けてください。

## <操作>

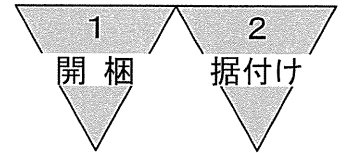


- 1) 二次側の設定圧力範囲は一次側圧力の0.1MPa以下で行ってください。圧力降下が大きくなる場合があります。
- 2) 圧力調整はロックを解除してから行なってください。圧力調整ノブをロックした状態で無理に操作しますと破損する恐れがあります。
- 3) 使用条件や配管条件によっては一次側と二次側の圧力差が0.7MPa以下の場合でも、二次側圧力の脈動や発振音を生じることがあります。このような場合には、一次側圧力を下げて使用ください。それでも脈動や発振音がおさまらない場合は、当社にご連絡ください。
- 4) 圧力設定時には、二次側の方向切換弁を数回切り替えて設定圧力を確認してください。確認を怠りますと設定圧力が大きく変化する場合があります。
- 5) レギュレータの一次側で方向切換弁を使用するON・OFF作動は設定圧力の変化が大きくなりますので、方向切換弁はレギュレータの二次側への設置を推奨します。一次側圧力をOFFからONにしたときは、設定圧力を確認し再調整してください。

# 目 次

## MNRJB500シリーズ ブロックマニホールド小形直動精密レギュレータ

1. 開梱	5
2. 据付け	
2.1 設置環境について	5
2.2 配管について	5
2.3 据付けについて	8
3. 操作	
3.1 使用上の注意	10
4. 保守	
4.1 定期点検について	11
4.2 レギュレータブロック、給気ブロックの分解、交換方法について	11
4.3 分解図及び消耗部品リスト	13
5. 故障と対策	15
6. 内部構造	17
7. 製品仕様および形番表示方法	
7.1 製品仕様	18
7.2 形番表示方法	19
7.3 マニホールド構成ブロック商品	20
7.4 外形寸法	25



## 1. 開梱

- 1) ご注文の製品と製品に表示されている製品形番とが、同一であることを確認してください。
- 2) 製品外部に損傷を受けていないか確認してください。
- 3) 製品に取扱注意書などが、添付されている場合は、この取扱説明書と合わせてよく読んでからご使用ください。



### 注意

製品内部に異物が入らないように配管直前まで開封しないでください。

## 2. 据付け

### 2.1 設置環境について

下記環境での使用はしないでください。

- 1) 周囲温度が製品の使用温度範囲を超える場合。
- 2) 使用流体が凍結する場合。
- 3) 水滴や切削油がかかる場所。
- 4) 腐食性ガス、液体および化学薬品の雰囲気がある場合。
- 5) スパッタの雰囲気がある場合。
- 6) 直射日光や雨風・潮風・水・海水があたる場所。
- 7) 多湿で温度変化により結露を生じる場合。
- 8) オゾン発生環境。
- 9) 振動・衝撃のある場所。



### 警告

衝撃・振動や有機薬品・化学薬品などの雰囲気または付着する場所での使用はできません。破損の危険があり事故になる場合があります。

### 2.2 配管について

- 1) エアの流れが、レギュレータの配管ブロックについている矢印の方向になるように取付けてください。
- 2) レギュレータのIN側には、必ず5  $\mu$ mのエアフィルタを設置してください。

- 3) ゲージポートには、圧力計を取り付けてください。取り付けない場合は、パイププラグを取り付けてください。
- 4) 接続する際は、使用する空気配管を十分にフラッシングしてください。
- 5) 適用配管チューブについて

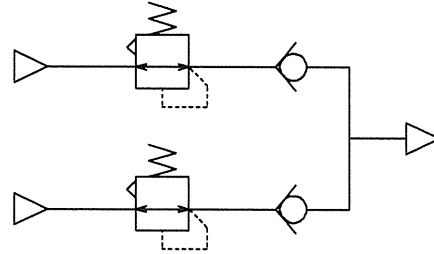
配管はワンタッチ継手となります。配管チューブの外径精度、肉厚、硬度によっては抜け、漏れを生ずることがあります。当社指定のチューブをご使用ください。

チューブ	外径	外径公差	内径	曲げ最小半径
ソフトナイロン F-1500シリーズ	φ4	±0.1	φ2.5	10
	φ6		φ4	20
	φ8		φ5.7	30
ウレタン U-9500シリーズ	φ4	+0.1	φ2	10
	φ6	-0.15	φ4	20
	φ8	+0.1 -0.2	φ5	30
ウレタン NUシリーズ	φ4	±0.1	φ2.5	8
	φ6		φ4.5	15
	φ8		φ6	28

- 6) 配管チューブは、専用工具で直角に切断してワンタッチ継手に確実に差し込み、抜けないことを確認してご使用ください。チューブの脱着に際しては、継手の開放リングを均等に押し付けチューブをねじらないように抜いてください。

 **注意**

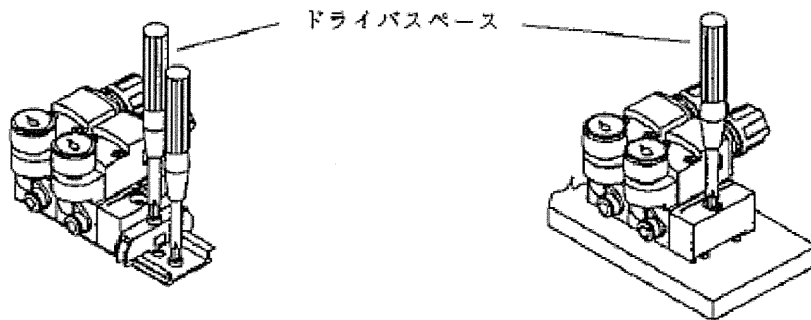
- 1) 使用する配管はフラッシング・洗浄を行なってください。  
配管内にゴミ・異物が残っていると、製品の作動不良を起こす原因となります。
- 2) 製品は矢印で流れ方向を確認の上、正しく接続してください。反対方向に取り付けますと正常に作動しません。
- 3) 製品に無理な力が加わらないように配管してください。  
配管および取付け時に引張り、圧縮、曲げ、チューブによる外力等の力が製品に加わらないようにしてください。
- 4) 下図のように並列に使用する場合は、二次側を閉回路にしないでください。閉回路が必要な場合は、必ず各二次側にチェック弁を入れてご使用ください。



- 5) 圧力計をねじ込む際は、必ず四角二面取り部分にスパナを掛けてねじ込んでください。他の部分を持ってねじ込むとエア漏れおよび破損の原因となります。

### 2.3 据付について

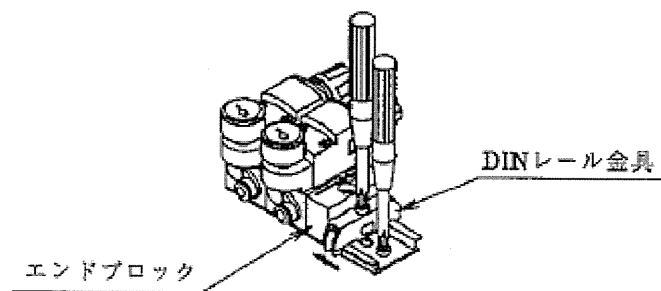
- 1) 調圧ノブを持って移動させたり、振り回したりしないでください。
- 2) 使用される空気圧機器のできるだけ近くに取り付けてください。
- 3) 分解等の際、レギュレータブロックが取り外せるように十分なスペースをとってください。



- 4) ブロックマニホールド DIN レール取付を設置する場合は、DIN レールを固定するとともに、DIN レール金具は必ず、マニホールド端面のエンドブロックの両サイド(右、左)2箇所を挟み込んで固定してください。

DIN レール金具の適正締め付けトルクは、 $1.4 \sim 2.0 \text{N} \cdot \text{m}$  です。

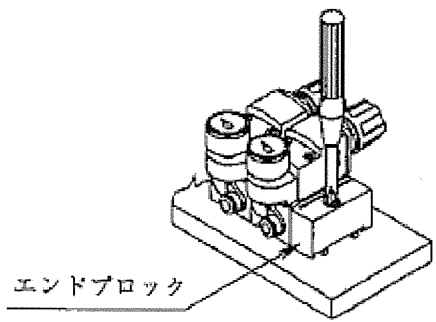
DIN レール金具はエンドブロックの間に隙間がないように押しえ付けて固定してください。レギュレータブロックの増設時、保守分解時にはご注意ください。



- 5) DIN レールを用いない直接取付けする場合は、必ず両サイドのエンドブロックを M4 ネジで固定してください。

適正締め付けトルクは  $1.4 \sim 2.0 \text{N} \cdot \text{m}$  です。

据付け面は、全面座とし平面上としてください。座面がない場合の上からの外力はマニホールド連結部の破損につながります。全面座面が確保できない場合は、DIN レール取付タイプを使用してください。



- 6) 振動、衝撃のある場所への取付けは避けてください。



製品の取り付けは、固定ネジまたはマウントナットで確実に固定してください。圧力を加えたときに製品が振れ、事故につながる場合があります。

### 3. 操作

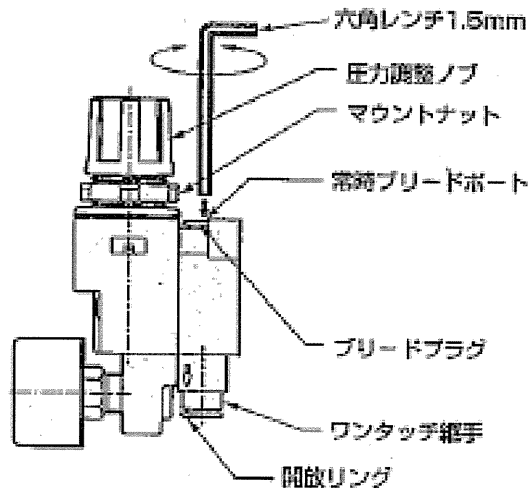
#### 3.1 使用上の注意

- 1) 一次側圧力を確認してから圧力設定を行ってください。
- 2) 一次側圧力より高い圧力の設定はできません。
- 3) 調圧ノブのロック解除は、圧力調整ノブを引っ張るとロックが解除されます。  
また、圧力調整ノブを押すとロックされます。
- 4) 圧力調整は、ロックを外して右回転で二次側圧力上昇、左回転で圧力降下となります。  
圧力調整後は、圧力調整ノブをロックしてください。
- 5) ノブは設定圧 0MPaの状態からさらにL方向(減圧方向)へ回転させないでください。  
ノブのロックができなくなります。
- 6) 一次側と二次側の圧力差は0.1~0.7MPaで使用してください。
- 7) 常時ブリードポートからは、常時エアが漏れていますが、これは精密な圧力制御に必要なことのため、穴をふさがないようにしてください。
- 8) 常時ブリードポート内の止めねじを回すことで常時ブリード量の調整ができます。  
常時ブリード量は設定圧力に比例して増加しますが、設定圧力 0.1MPa以上では  
少なくすることが可能です。

また、低圧域では常時ブリード量は弊社出荷時 1.5L/min(ANR)に設定してありますので、六角レンチを常時ブリードポートに差し込んで調節してください。調整後は設定圧力が上昇しないことを確認して使用してください。

常時ブリード調節時、止めねじをいっぱいまで回さないでください。

圧力調節ができなくなるとともに破損の原因となります。



- 1) 製品の仕様範囲内で使用してください。
- 2) レギュレータの設定圧力を超えた出力圧が二次側装置の破損や作動不良を招く場合には、必ず安全装置を付けてください。

**⚠ 注意**

- 1) 二次側の設定圧力範囲は一次側圧力の0.1MPa以下で行ってください。圧力降下が大きくなる場合があります。
- 2) 圧力調整はロックを解除してから行なってください。圧力調整ノブをロックした状態で無理に操作しますと破損する恐れがあります。
- 3) 使用条件や配管条件によっては一次側と二次側の圧力差が0.7MPa以下の場合でも、二次側圧力の脈動や発振音を生じることがあります。このような場合には、一次側圧力を下げて使用ください。それでも脈動や発振音がおさまらない場合は、当社にご連絡ください。
- 4) 圧力設定時には、二次側の方向切換弁を数回切り替えて設定圧力を確認してください。確認を怠りますと設定圧力が大きく変化する場合があります。
- 5) レギュレータの一次側で方向切換弁を使用してのON・OFF作動は設定圧力の変化が大きくなりますので、方向切換弁はレギュレータの二次側への設置を推奨します。一次側圧力をOFFからONにしたときは、設定圧力を確認し再調整してください。

## 4 保守

### 4.1 定期点検

#### 1) 日常点検

- ・本製品を使用する前に、圧力計等で設定圧力の点検を推奨します。

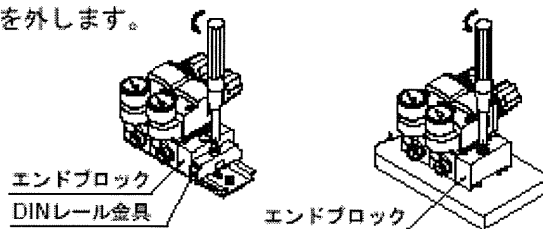
#### 2) 定期点検

- ・本製品を最適状態でご使用していただくために、定期点検を通常、半年に1回行ってください。
- ・圧力計で設定圧力を点検してください。
- ・配管から漏れがないか点検することを推奨します。

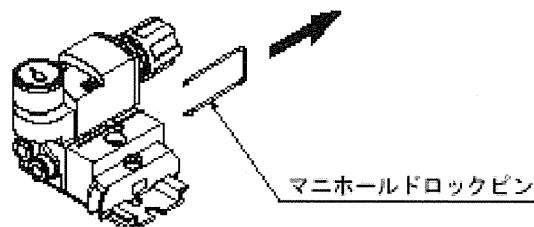
### 4.2 レギュレータブロック、給気ブロックの分解、交換について

レギュレータブロック・給気ブロックの交換

- ①DINレール取付けの場合は、DINレール金具の固定ネジを緩めます。  
DINレールを用いない直接取付けの場合は、エンドブロック固定ネジを外します。



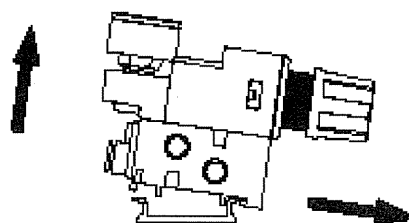
- ②交換したいレギュレータブロック、給気ブロックを連結しているマニホールロックピンを細いドライバー先端で引抜きます。



- ③ブロックをエンドブロック側にスライドさせ交換するブロックの両端に10mm程度の隙間を設けます。ダイレクト取付の場合は両側のブロックを抜き取ってください。



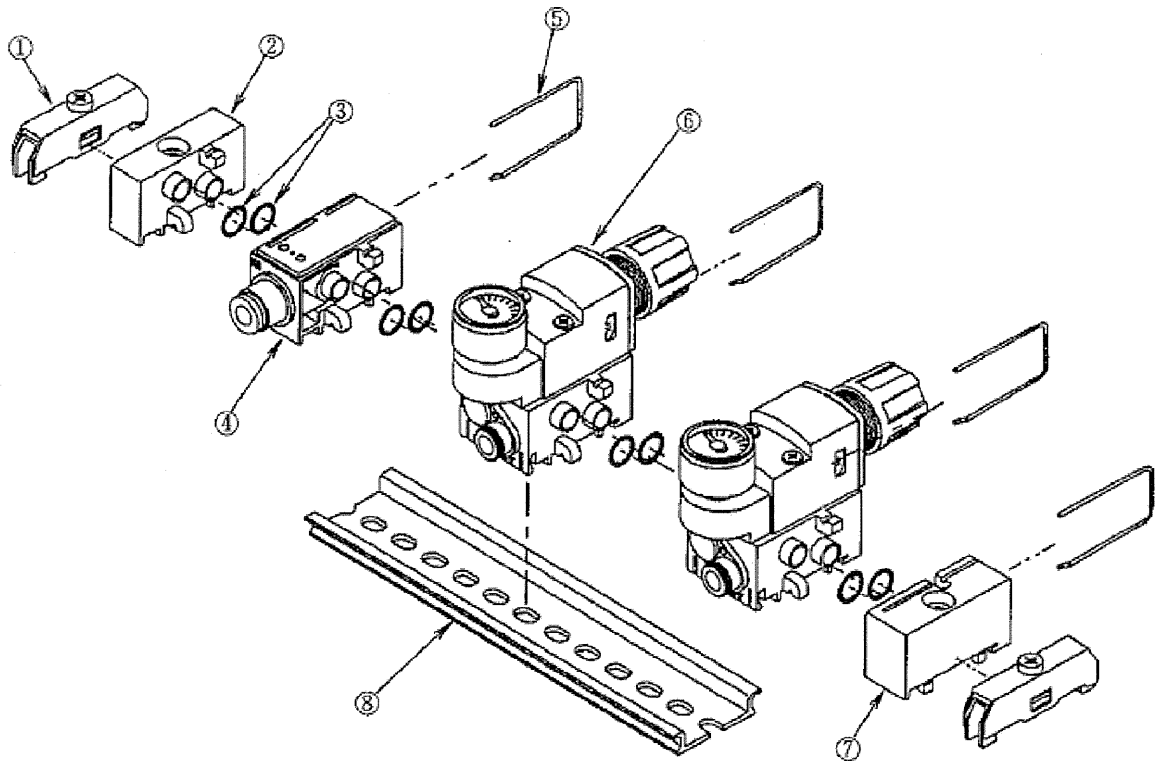
- ④圧力計側を持ち上げ調圧ノブ側へ引くことによりDINレールから外れます。両サイドのDINレール金具をエンドブロックから2mm以上スライドさせるとマニホールブロック全体を外すことができます。



- ⑤新しいブロックと交換します。  
⑥ブロック間を隙間がない様にし、マニホールロックピンを溝底面に当るまで挿入します。  
⑦使用上の注意事項、据付時に従ってマニホールブロック間を固定してください。

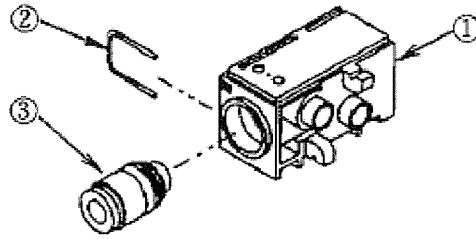
### 4.3 分解図及び消耗部品リスト

#### 1) ブロックマニホールド分解図



No.	品名	材質	数量	備考
1	DINレール取付金具	SPCC	2	DINレール取付タイプのみ
2	エンドブロックL	PA66	1	
3	Oリング	NBR	$(n+m+1) \times 2$	規格No.AS568-011
4	集中給気ブロック		m	集中給気タイプのみ
5	マニホールドロックピン	SUS304	$(n+m+1)$	
6	レギュレータブロック		n	
7	エンドブロックR	PA66	1	
8	DINレール	アルミニウム	1	DINレール取付タイプのみ

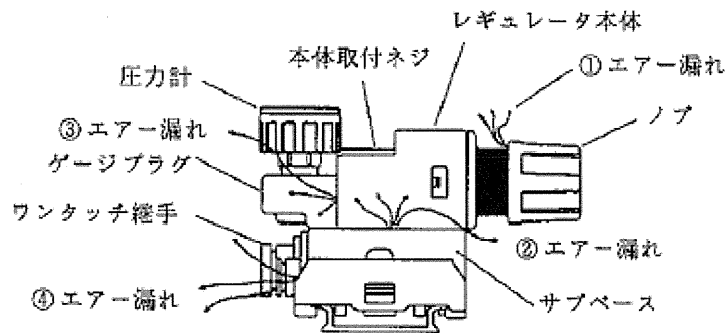
2) 給気ブロック分解図(集中給気タイプのみ)



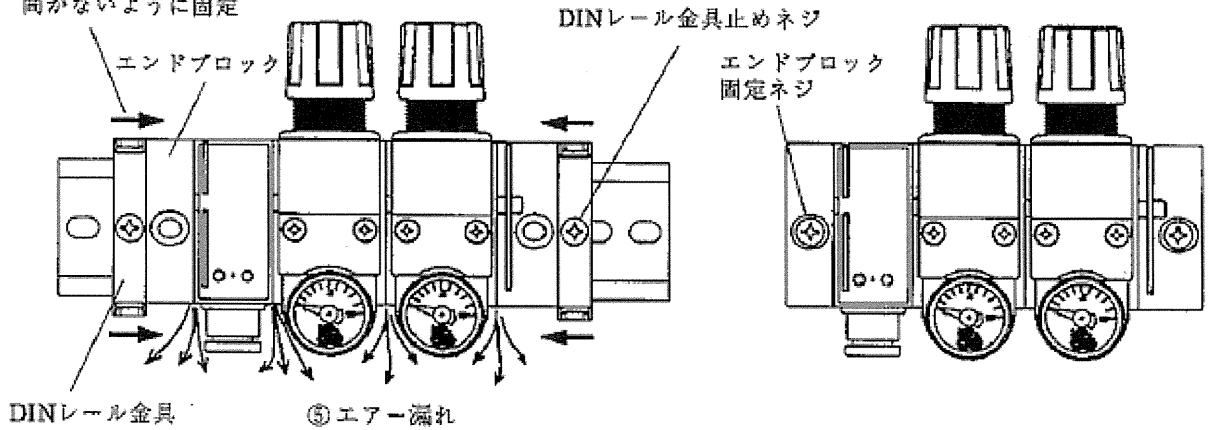
No.	品名	材質	数量	備考
1	INポートブロック	PA66	1	
2	止めピン	SUS304	1	
3	ワンタッチ継手	-	1	

## 5. 故障と対策

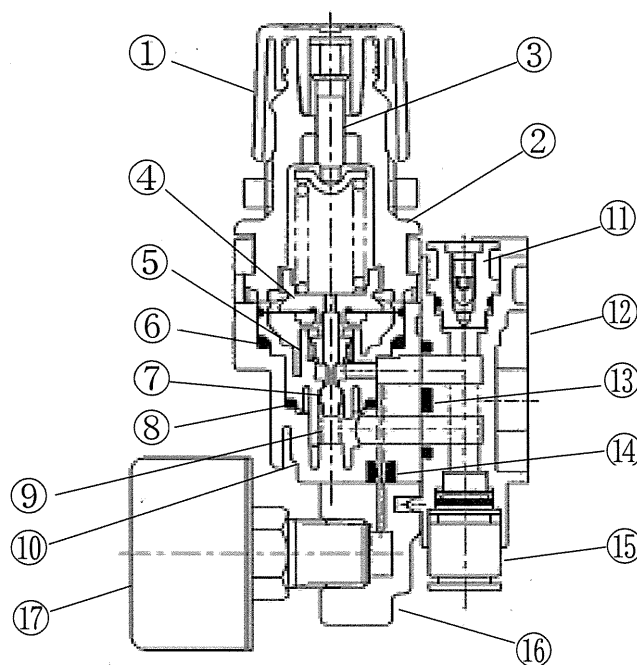
不具合現象	原因	対策
一次圧を加えると、圧力調整ノブの下側①よりエアが漏れる。	IN、OUTを逆に接続している。	正しい取付け方向に直してください。
本体とサブベースの隙間②からエア漏れが発生する。	ボディパッキンが収縮または、損傷している。	製品の交換をお願いします。
	本体取付ネジが緩んでいる。	圧縮空気を止めて、取付ネジを、締め直してください。
圧力があがらない。	一次圧が不足している。	一次圧力を確認してください。
	一次圧配管が長いまたは絞られている。	一次側配管を短くする。または配管径を大きくしてください。
	圧力計の針が動かない。	圧力計が故障している可能性があります。新品と交換してください。
ゲージプラグ部③よりエア漏れが発生する。	ゲージプラグパッキンが収縮または、損傷している。	ゲージゲージプラグパッキンを新品と交換する。
圧力調整ノブの下側①よりエアの漏れが発生し、設定圧力が異常に上昇する。	弁にゴミが付着している。ダイヤフラムが破損している。	製品の交換をお願い致します。
二次側圧力の脈動や発振音がする。	配管条件やしよう方法によっては、脈動や発振音が発生することがあります。	一次圧力を下げて使用してください。
ワンタッチ継手部④よりエア漏れが発生する。	チューブの差込みが不十分です。	チューブの差込みが十分か確認してください。
ブロック連結間⑤よりエア漏れが発生する。	Oリングが損傷している。	圧縮空気を止めて、分解のうえ、損傷部分を新品と交換をお願いします。
	ブロック連結間の隙間がひらいている。	DINルール金具止めネジ、またはエンドブロックの固定ネジの緩みを確認してください。



DINレール金具はエンドブロックの間に隙間がないように固定



## 6. 内部構造



品番	部品名称	材質
1	圧力調整ノブ	POM
2	カバー	PA66
3	圧力調整ねじ	鋼
4	ダイヤフラム組付	POM、H-NBR、CR
5	弁ガイド組立	POM、SUS304、C3604(Niメッキ)
6	リング	FKM
7	弁	SUS303
8	リング	FKM
9	スプリング	SUS304
10	ボディ	PA66
11	ブリードプラグ組立	PA66、SUS304、NBR
12	配管ブロック組立	PA66、鋼
13	ボディパッキン	NBR
14	パッキン	NBR
15	カートリッジ継手	
16	ゲージプラグ	PA66
17	圧力計	

## 7. 製品仕様および形番表示方法

### 7.1 製品仕様

#### 仕様

項目		MNRJB500A	MNRJB500B
使用流体		圧縮空気	
最高使用圧力	MPa	0.8	
耐圧	MPa	1.2	
使用温度範囲	°C	5~60	
設定圧力範囲	MPa	0.02~0.5 (0.01~0.2) (注1)	
感度	MPa	0.001 [ロック感度 0.004] (注2)	
空気消費量	ℓ/min	1.5 (注3)	
接続口径	IN	ワンタッチ継手 φ6・φ8	ワンタッチ継手 φ4・φ6
	OUT	ワンタッチ継手:φ4・φ6	
	GAUGE	Rc1/8	

注1:( )内は、低圧用です。

注2:調圧ノブロック最小ピッチでの設定圧力感度です。

注3:2次側設定圧力0.1MPa時の値です。

## 7.2 形番表示方法

MNRJB500A - SSC64 - 5 - L - D

① 機種形番  
注1

㊦ 継手種類

㊦ 接続口径

② 連数  
注2

㊦ オプション  
注3

㊦ 取付方法

記号	内容		
<b>① 機種形番</b>			
MNRJB500A	集中給気タイプ		
MNRJB500B	個別給気タイプ		
<b>㊦ 継手種類</b>			
IN方向			
S	ストレート		
L	エルボ		
OUT方向			
S	ストレート		
L	エルボ		
<b>㊦ 接続口径 IN-OUT</b>			
		MNRJB500A	MNRJB500B
C64	IN:φ6, OUT:φ4	●	
C66	IN:φ6, OUT:φ6	●	
C84	IN:φ8, OUT:φ4	●	
C86	IN:φ8, OUT:φ6	●	
C4	IN, OUT:φ4		●
C6	IN, OUT:φ6		●
<b>② 連数</b>			
1	1連		
}	}		
10	10連		
<b>㊦ オプション</b>			
		MNRJB500A	MNRJB500B
圧カレンジ	無記号	0.02~0.5MPa 注4	●
	L	0.01~0.2MPa 注5	●
圧力計	無記号	圧力計付	●
	T	圧力計無し(ゲージポートRc1/8)	●
流れ方向	無記号	標準流れ(左→右)	●
	X1	逆流れ(右→左)	●
<b>㊦ 取付方法</b>			
無記号	DINレール取付		
D	ダイレクト取付		

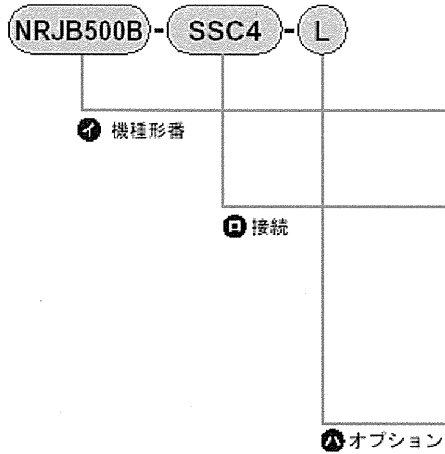
### ▲ 形番選定にあたっての注意事項

- 注1: 給気ブロックは1連とします。  
集中給気タイプにて3連以上同時使用の場合は、3連につき1連の給気ブロックを増設してください。  
この場合はミックスマニホールド仕様書で指定ください。
- 注2: ダイレクト取付タイプの連数は5連までとしてください。
- 注3: 各レギュレータブロックのオプション・圧力計は同一品となります。
- 注4: 0~1.0MPa圧力計が相付けとなります。
- 注5: 0~0.4MPa圧力計が相付けとなります。
- 注6: 基本形番以外の仕様の場合、667ページのミックスマニホールド仕様書を発行願います。

### 7.3 マニホールド構成ブロック商品

#### レギュレータブロック

形番表示方法



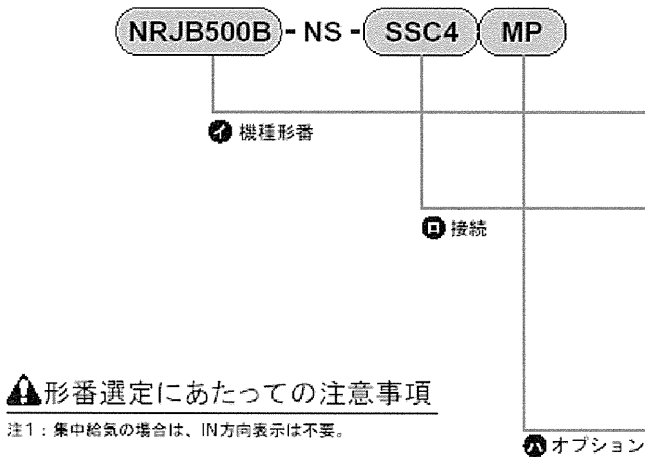
記号	内容		
<b>① 形番</b>			
NRJB500A	集中給気タイプ		
NRJB500B	個別給気タイプ		
<b>② 接続</b>			
方向	注1 IN	S	ストレート
		L	エルボ
	OUT	S	ストレート
		L	エルボ
口径	IN- OUT	C4	φ4
		C6	φ6
<b>③ オプション</b>			
圧カレンジ	無記号	0.02~0.5MPa 注2	
	L	0.01~0.2MPa 注3	
圧力計	無記号	圧力計付	
	T	圧力計なし(ゲージポートRc1/8)	

#### ⚠ 形番選定にあたっての注意事項

注1：集中給気の場合は、IN方向表示は不要  
 注2：0~1.0MPaの圧力計が組付けとなります。  
 注3：0~0.4MPaの圧力計が組付けとなります

#### サブベース

形番表示方法



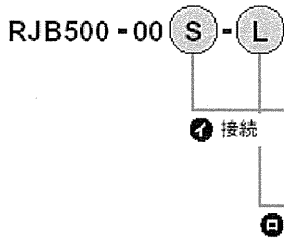
記号	内容		
<b>① 形番</b>			
NRJB500A	集中給気用		
NRJB500B	個別給気用		
<b>② 接続</b>			
方向	注1 IN	S	ストレート
		L	エルボ
	OUT	S	ストレート
		L	エルボ
口径	IN- OUT	C4	φ4
		C6	φ6
<b>③ オプション</b>			
無記号	マスキングプレートなし		
MP 注2	マスキングプレート付		

#### ⚠ 形番選定にあたっての注意事項

注1：集中給気の場合は、IN方向表示は不要。

レギュレータ本体

形番表示方法



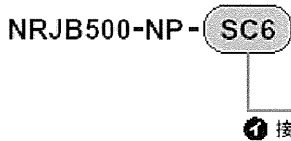
記号	内容	
<b>1 接続</b>		
S	単品 (RJB500用)	
M	マニホールド (MNRJB500A, B用)	
<b>2 オプション</b>		
パネルマウント	無記号	ナット無し
	P	ナット付
圧カレンジ	無記号	0.02~0.5MPa 注1
	L	0.01~0.2MPa 注2
圧力計	無記号	圧力計付
	T	圧力計なし (ゲージポートRc1/8)

**⚠ 形番選定にあたっての注意事項**

注1: 0~1.0MPa圧力計が組付けとなります。  
注2: 0~0.4MPa圧力計が組付けとなります。

集中給気ブロック

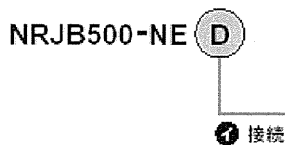
形番表示方法



記号	内容	
<b>1 接続</b>		
方向	S	ストレート
	L	エルボ
口径	C6	φ6
	C8	φ8

エンドブロック

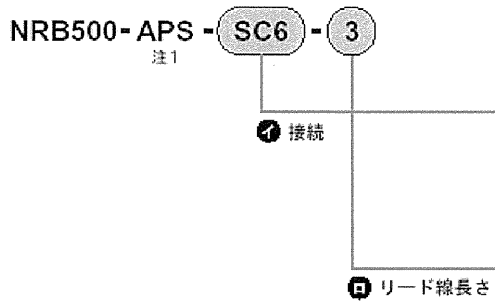
形番表示方法



記号	内容	
<b>1 接続</b>		
無記号	DINレール用エンドブロックR(右側)	
L	DINレール用エンドブロックL(左側)	
D	ダイレクトエンドブロックR	
DL	ダイレクトエンドブロックL	

圧力スイッチ付集中給気ブロック

形番表示方法



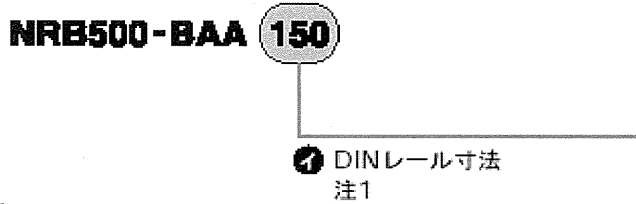
記号	内容	
<b>1</b>	<b>接続</b>	
方向	S	ストレート
	L	エルボ
口径	C6	φ6
	C8	φ8
<b>1</b>	<b>リード線長さ</b>	
	無記号	1m
	3	3m
	5	5m

**⚠ 形番選定にあたっての注意事項**

注1：APS本体は、グリースを塗布して梱付けています。  
ノングリース仕様は対応できません。

DIN レール

形番表示方法



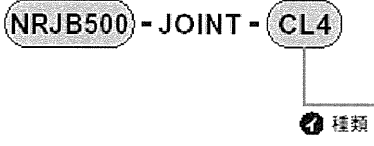
記号	内容
<b>1</b>	<b>DINレール寸法</b>
125	125mm
150	150mm
⋮	⋮

**⚠ 形番選定にあたっての注意事項**

注1：DINレール寸法はミックスマニホールド仕様書の作り方、  
DINレール長さともニホールド寸法を参照し、mm単位で記入願います。

ワンタッチカートリッジ継手（レギュレータブロック用）

形番表示方法



記号	内容	
<b>1</b>	<b>種類</b>	
C4	ストレートφ4	
C6	ストレートφ6	
CL4	エルボφ4（単品用）	
CL6	エルボφ6（単品用）	
CLL4	ロングエルボφ4（マニホールド用）	
CLL6	ロングエルボφ6（マニホールド用）	

圧力計

形番表示方法

**G39D-6-P10**

① 圧力表示



記号	内容
① 圧力表示	
P10	0~1.0MPa
PO4	0~0.4MPa

カートリッジ継手（集中給気ブロック用）

形番表示方法

**NRJB500-Q-JOINT-L6**

① 種類

記号	内容	
① 種類		
6	ストレートφ6	
8	ストレートφ8	
L6	エルボφ6	
L8	エルボφ8	

ブランクプラグ

形番表示方法

**GWP-4-B**

① 接続

記号	内容
① 接続	
4	φ4
6	φ6
8	φ8

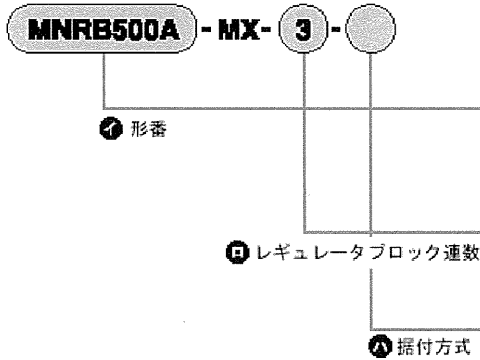
**⚠形番選定にあたっての注意事項**

注1：販売単位は10ヶ単位になります。

**ミックスマニホールド仕様書の作り方**

● **ミックスマニホールド形番**

小形直動精密タイプ (RJB500シリーズ) と汎用タイプ (RB500シリーズ) のミックスマニホールドが可能です。  
各構成部品の形番は 660 ~ 664 ページをご参照ください。



記号	内容
<b>イ 形番</b>	
MNRJB500A	集中給気タイプ (小形直動精密レギュレータのみ選定時)
MNRB500A	集中給気タイプ (小形直動精密、汎用レギュレータをミックス時)
MNRJB500B	個別給気タイプ (小形直動精密レギュレータのみ選定時)
MNRB500B	個別給気タイプ (小形直動精密、汎用レギュレータをミックス時)
<b>ロ レギュレータブロック連数</b>	
1	1連
2	2連
⋮	⋮
<b>ハ 据付方式</b>	
無記号	DINレール
D 注1	ダイレクト取付

**▲ 形番選定にあたっての注意事項**

- 注1: ダイレクト取付のブロック連数はレギュレータブロック・給気ブロックを合わせて6ブロック以内です。ただし、レギュレータブロックは、5連以内としてください。
- 注2: NRB500※およびAPS付集中給気ブロックをご指定の場合は、ノングリース仕様とはなりません。グリース塗布にて組付となります。
- 注3: 集中給気タイプと個別給気タイプを合わせる場合は、別途ご相談ください。

構成商品	形番	設置位置	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14														数量			
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
エンドブロックL	N[R]B500-NE		○																	1
集中給気ブロック	N[R]B500-NP-[ ]			○																
APS付集中給気ブロック	NRB500-APS-[SC6]-[3]				○															1
レギュレータブロック	N[R]500[A]-[SC6]-[ ]					○	○													1
	N[R]B500[A]-[SC6]-[ ]																			2
	N[ ]500[ ]-[ ]-[ ]																			
	N[ ]500[ ]-[ ]-[ ]																			
	N[ ]500[ ]-[ ]-[ ]																			
	N[ ]500[ ]-[ ]-[ ]																			
	N[ ]500[ ]-[ ]-[ ]																			
マスキングプレート付サブベース	N[ ]500[ ]-NS-[ ]-MP																			
エンドブロックR	N[R]B500-NE								○											1
DINレール	L <sub>2</sub> = [175]mm		添付部品		GWP4-B		ヶ		GWP8-B		ヶ									
			ブラックプラグ		GWP6-B		ヶ													

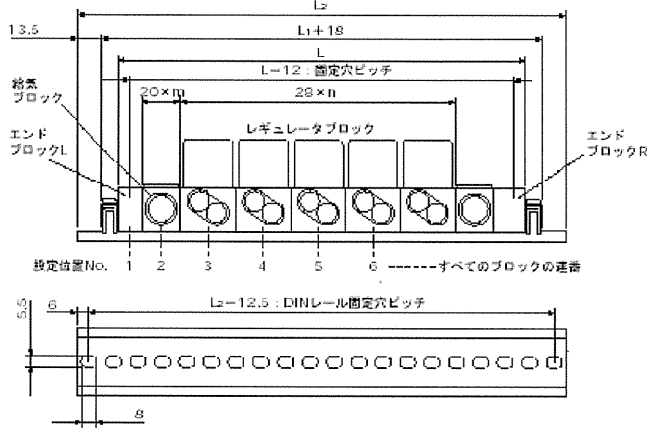
● DIN レール長さ と マニホールド寸法

マニホールド長さ L2: 右表を参照ください。

$$L = (28 \times n) + (20 \times m) + 28$$

n: レギュレータブロック数

m: 給気ブロック数



● 集中給気形

マニホールドの L2 寸法

連数	m=1の寸法	m=2の寸法	m=3の寸法
1	125		
2	150		
3	175	200	
4	212.5	225	
5	237.5	262.5	275
6	262.5	287.5	300
7	287.5	312.5	337.5
8	325	337.5	362.5
9	350	375	387.5
10	375	400	412.5

● 個別給気形

マニホールドの

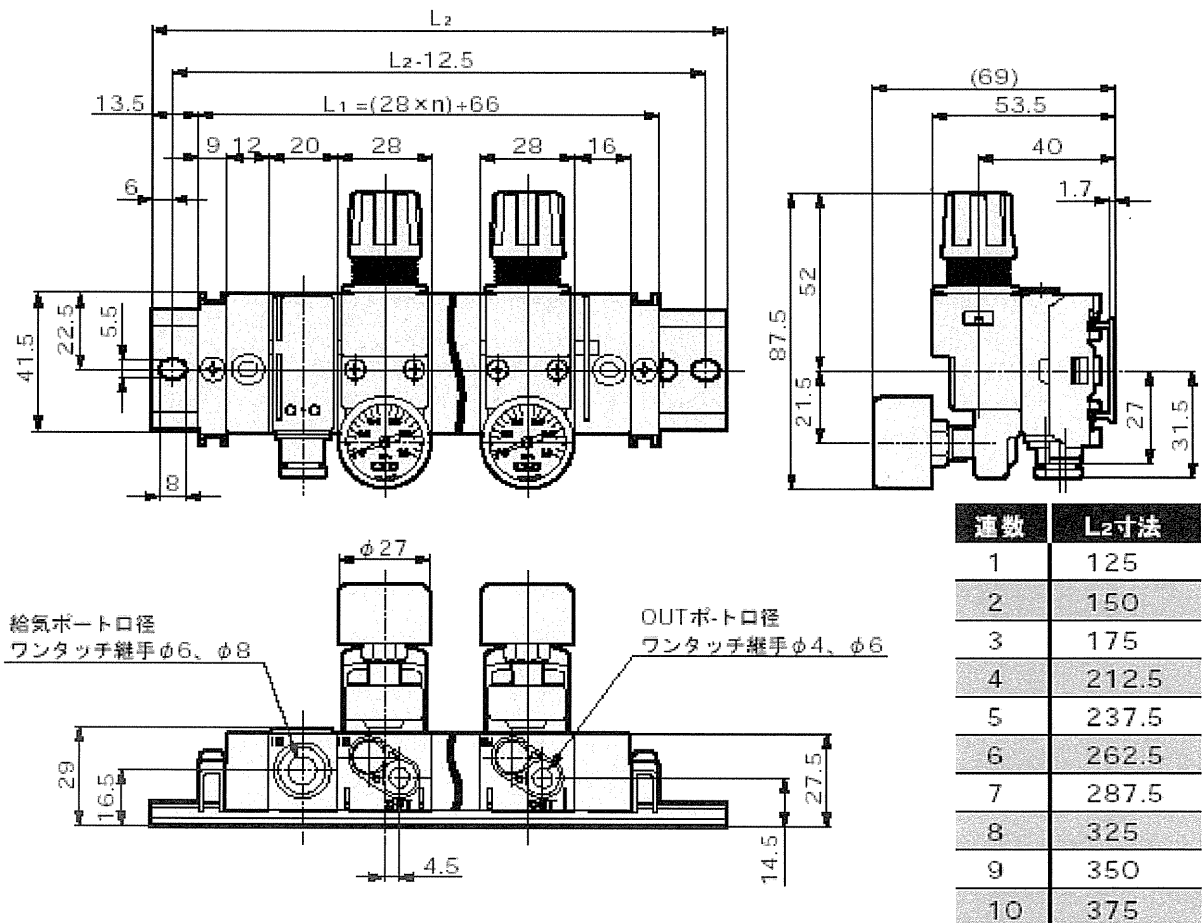
L2 寸法

連数	L2寸法
1	100
2	137.5
3	162.5
4	187.5
5	212.5
6	250
7	275
8	300
9	325
10	362.5

7.4 外径寸法

● 集中給気形 DIN レール取付タイプ

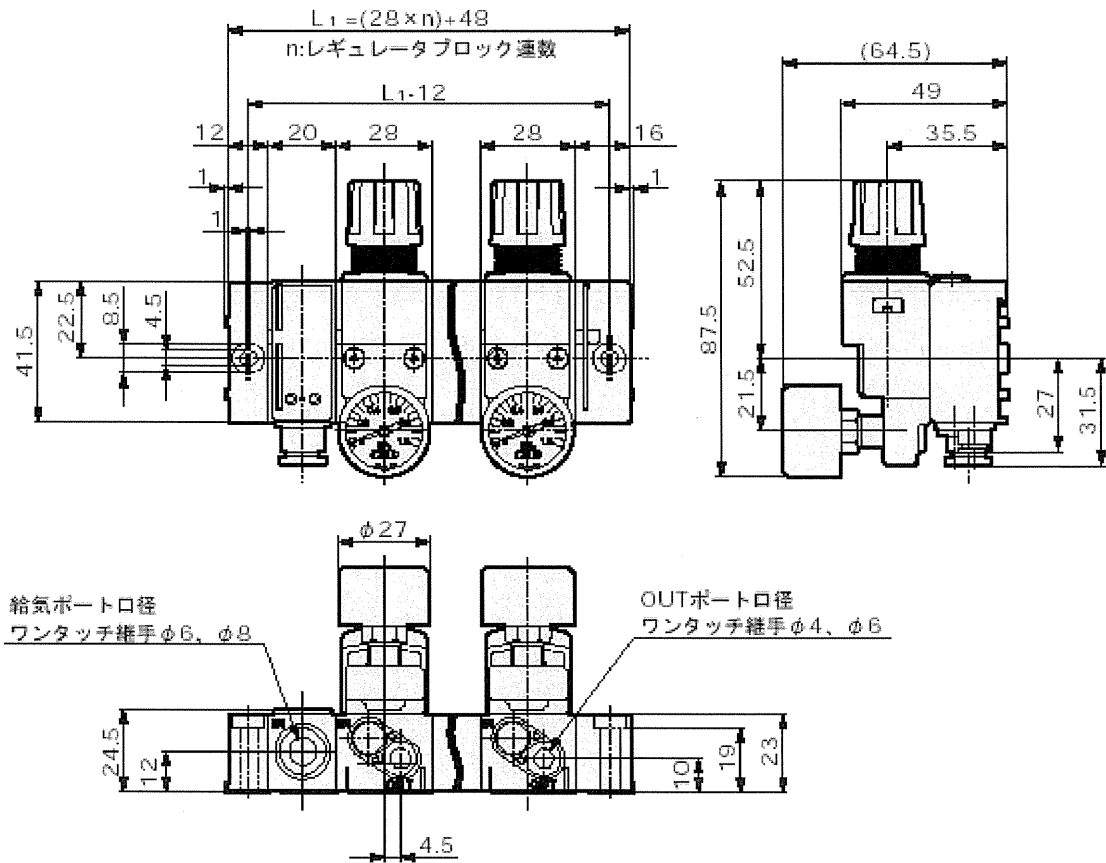
MNRJB500A- ※※ C ※※ - ※



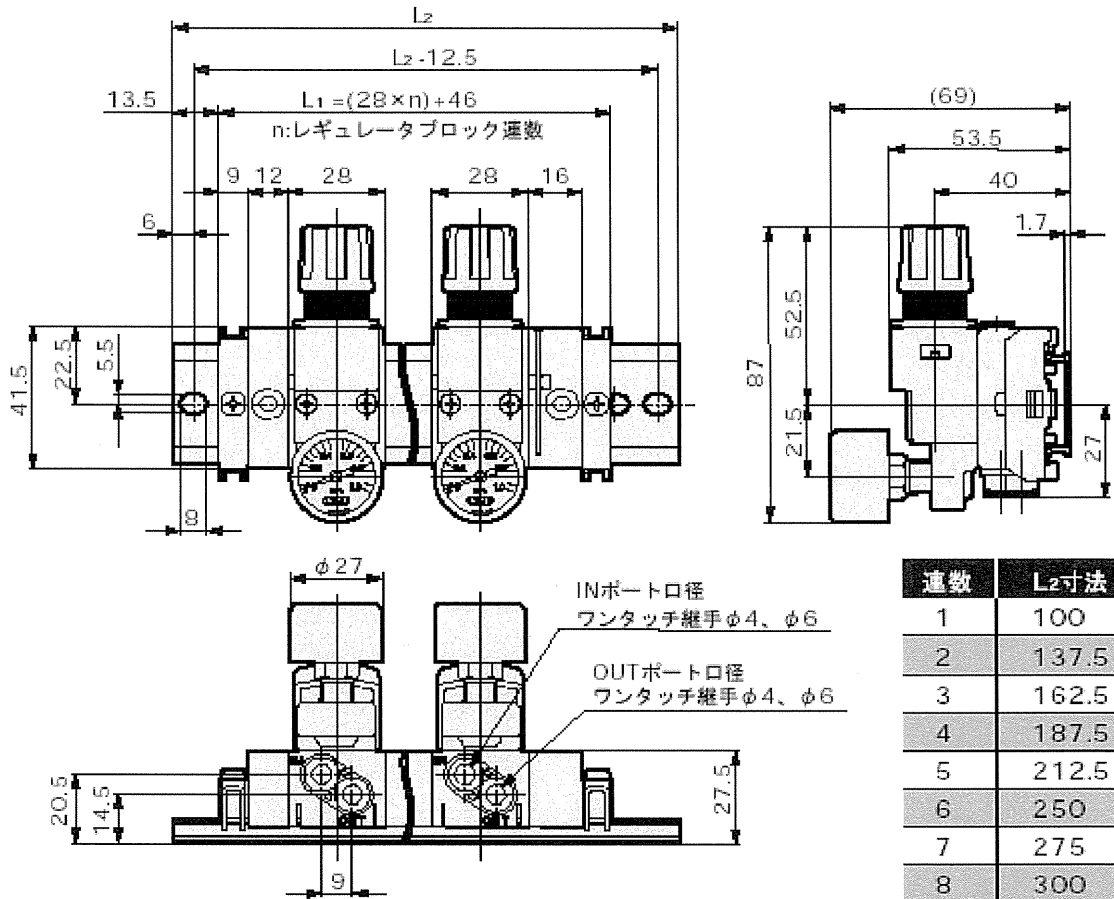
連数	L2寸法
1	125
2	150
3	175
4	212.5
5	237.5
6	262.5
7	287.5
8	325
9	350
10	375

●集中給気形ダイレクト取付タイプ

MNRJB500A-※※C※※-※-D



●個別給気形 DIN レール取付タイプ  
MNRJB500B-※※C※-※



連数	L <sub>2</sub> 寸法
1	100
2	137.5
3	162.5
4	187.5
5	212.5
6	250
7	275
8	300
9	325
10	362.5

●個別給気形ダイレクト取付タイプ

MNRJB500B-※※C※-※-D

